

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援・保育所等訪問支援 スマイル今里店
------	-------------------------

公表日 令和7年2月15日

利用児童数 31人 回収数 90%

	チェック項目	利用児童数				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	90%	10%	0%	0%	・常に整頓されていると思います。広さも十分です。 ・本人が好きな運動、ボール遊びもでき嬉しそうです。 ・もう少し広いと支援の幅が広がるのかなと思いました。	・運動を行う際には、店舗内のブレイルームの他に近隣の公園やスマイル本店の3階にある療育施設を活用しております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	90%	5%	0%	5%	・人数が多い時は「違う日への変更をしてくれませんか」と聞いてくださり、調整してくれます。	・ご意見にもあったように、利用確定前に別日の振り替え作業を行い、安全な環境や質の高い療育に取り組む事ができるようにしています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	84%	5%	0%	11%	・きれいです。	・日常目にする空間にはできる限り視覚情報を減らし、活動に集中できるようにしています。 ・下駄箱、荷物置き場の棚(各自)、玩具の棚等、物の整理整頓・管理がしやすい環境を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	90%	10%	0%	0%	・清潔感はずこあります。 ・きれいです。	・日々の清掃や食事前のアルコール消毒、加湿空気清浄機により清潔な環境作りを心掛けています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	88%	5%	0%	7%	・1人1人に合わせてすぐ考えてくださっていると思います。 ・苦手な事や楽しい事も行って下さり、本人はスマイルさんの環境がとても好きです。	・お子様の興味・関心のある好きな活動と少し挑戦すべき活動を組み合わせています。苦手な事もお友だちと一緒に導入方法や、スモールステップで意欲的に取り組み続ける課題設定の工夫を考えて支援しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	90%	0%	0%	10%	・細かく悩みや成長を聞いてくださり、細かく計画してくれる。	・児童指導員や保育士だけではなく、機能訓練士(PT・OT・ST)、心理担当職員等、様々な職種と意見交換しながら、多角的なアプローチや支援内容を決めています。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	95%	0%	0%	5%	・自分の子に合っていると思います。きちんと話す場を設けて頂いて嬉しいです。 ・とても勉強になります。 ・細かく悩みや成長を聞いてくださり、細かく計画してくれる。	・定期的なモニタリングでは、スマイル独自の発達段階を考慮した5領域のアセスメントシートを用いて現状を把握し、課題設定に活かしています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	90%	0%	0%	10%	・細かく悩みや成長を聞いてくださり、細かく計画してくれる。	・個別支援計画では、本人支援、家族支援、移行支援、地域支援を項目ごとに分けて作成しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	95%	0%	0%	5%	・細かく悩みや成長を聞いてくださり、細かく計画してくれる。	・全職員に個別支援計画の共有を行い、計画に基づいた支援を行っています。 ・お子様の現状から、日々支援の方向性の確認や見直し、改善策を検討しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	84%	8%	0%	8%	・細かく悩みや成長を聞いてくださり、細かく計画してくれる。	・職員の得意分野や専門性を活かして、職員間で療育内容を話し合っています。前日の活動の良い所、改善すべき所の意見交換を密に行い、内容のレベルアップや新しい取り組みを順次行っています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	64%	4%	8%	24%	・幼稚園へ送迎に行ってください、幼稚園の先生も成長にびっくりしていると話しています。	・地域の子もたちとは近隣の公園での交流があります。外出イベントで他の子どもたちと交わることはありますが、交流会等の企画は行っていません。 ・大半のお子様は通園先があるため、通園先での他児童との関わりを見たり、送迎時に担任等の先生とお子様の成長の確認や今後に向けての取り組みの意見交換をしています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	・契約時に説明がありました。	・利用開始前に管理者、児童発達支援管理者から保護者様に説明をし、安心して事業所を利用して頂けるように努めています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%	・細かく悩みや成長を聞いてくださり、細かく計画してくれる。	・納得して利用して頂くために、児童発達支援管理責任者が分かりやすい言葉で説明することを心掛けています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	・月1回子育てセミナーがあります。	・引き続き、月1回の子育てセミナー(勉強会・グループ相談)を月ごとにテーマを決めて実施していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	100%	0%	0%	0%	・リズム、送迎時に詳しく教えてくれるので助かります。 ・細かく悩みや成長を聞いてくれる。	・日々のお子様の成長を保護者様と共に喜び、分かち合うために、リズム、送迎時の口頭説明、写真や動画、SNS等でのやりとりを続けていきます。 ・引き続き、全職員でお子様一人一人の状況を共有し、統一した支援を心掛けていきます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・細かく悩みや成長を聞いてくださり、細かく計画してくれる。 ・定期的なモニタリングだけではなく、個別相談、日々のSNSやリトムの相談、送迎時での相談等、保護者様に相談しやすいと思っける関係作りに職員一同努めてまいります。 ・引き続き、お子様を支えていく一員として悩みを共有し、必要な情報提供や相談に乗りながら、問題解決に向けて取り組んでいきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95%	0%	0%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳などで苦手な事や興味のある事を記入すると、それを行い本人にも聞いてくれており嬉しく思います。 ・保護者様の悩みを真摯に受け止め、寄り添う姿勢を大切に支援をしていきます。 ・お子様への意思確認を大切に意見を尊重しながら、お子様自らが分かってもらえて良かったと実感できる場になるように努めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだいのためのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	48%	16%	16%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・以前参加し、先生と家族の方と話し合い親が前向きになりました。 ・保護者等で意見交換の場があり、ためになります。家族みんなで集まれる場が増えるともっと嬉しいです。 ・兄弟向けは特に必要としていない。 ・少しでも悩みや先の不安が軽減し、前向きな子育てにつながるために、今後も保護者様同士で悩みを出し合い、経験を伝え合う場を作っていきます。令和6年度から、事業所での1年の様子を見て頂ける上映会を企画しています。 ・令和7年度はきょうだいのにも参加して頂ける家族行事を計画しています。年間計画や詳細を書面やSMSで発信し、たくさんの方の参加につなげてまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	95%	0%	0%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらから相談事があると、素早く返信を頂けるので助かります。 ・保護者様の悩みや相談事に関して、迅速に行動することを第一に考えており、職員間での情報共有の徹底、相談体制は整っております。 ・申入れについては、内容から想定される問題の本質を見極め、より良い支援につながる方法を探索し対応に努めております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達完璧です。 ・お子様の様子や配慮事項、保護者様の要望等、職員が知り得た情報はすぐ職員間で情報共有し、統一した対応に努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	90%	0%	0%	10%	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等で発信されています。度々見せていただいています。 ・子どもの姿の写真や、その時の様子を情報共有のツールを使って送ってくれるのでとても安心です。 ・ホームページのブログに日々の療育だけではなく、休日の外出イベント、クッキング、工作活動等を掲載しています。 ・SNSを活用し、保護者様にはその日のお子様の様子や確認事項を、文章に写真や動画を添付して伝えています。 ・保護者様に記入していただく利用予定表に月の活動予定、月のイベントのお知らせの書面で発信しています。また詳細をSNSを活用し、発信しています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	95%	0%	0%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いには気を付けておられると思います。 ・プライバシーに関わる情報の取り扱い、書類等は鍵付きの書庫で厳重に保管・管理しています。 ・ホームページ上の写真は、個人が特定されないように掲載の仕方を配慮しています。 	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	80%	5%	0%	15%	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルを策定しており、定期的に見直しを行っております。保護者様に閲覧して頂けるようにファイリングしておりますが、周知が行き届いておらず、今後徹底してまいります。 ・令和6年度は火災を想定した避難訓練を実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	76%	0%	0%	24%	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度に実施した避難訓練の様子はブログに掲載しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	90%	0%	0%	10%	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時引き渡しシートを記入して頂き、非常事態での緊急連絡先、災害時の避難場所等の情報共有、連携の仕方を確認合っています。
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	90%	0%	0%	10%	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我や事故が起こった際には、経緯、お子様の状況、怪我の度合い、損傷した部位の写真、処置方法、その後のお子様の様子を速やかに電話、SNSで伝えています。今後の対応を相談し、経過観察、病院受診等の対応を検討しています。 ・送迎時に、直接怪我の箇所や処置状況を自視して頂いた上で、状況説明を行っています。 	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、お子様に安心して通っていただけるように、お子様との関係性作りを大切にしていきます。お子様の見本となるように、職員の方のふるまい、言葉遣いに常に気を配り、温かい雰囲気や居心地の良い場所になるように努めていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の「できた」という達成感や充実感を育む活動や、「またやってみたい」とお子様の興味を引く活動を考えで行うことで、魅力あふれる事業所になるようにしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の支援にとても満足しています。 ・成長をととても感じています。利用する前まで親も不安がりましたが、本人の「行きたい！」と言う顔や、とにかく楽しんでる姿に満足です。助かっています。 ・職員一同、保護者様の温かいお言葉を励みに支援をしております。いつもご協力頂き、ありがとうございます。 ・お子様、保護者様の期待に応えられるように職員一同精進してまいります。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・保育所等訪問支援 スマイル今里店		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 25名 (同一世帯あり)
○従業者評価実施期間	2025年 1月 5日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子様の安心感・満足度の高さにつながる専門性の高い療育内容	・お子様が通い続ける事業所運営のために、全職員が楽しい療育内容やイベントを企画し、実施している。 ・お子様の日々の成長をリアルタイムで保護者様に実感していただくために、情報共有は密に行っている。 ・平日の2部制を実施し、個別専門療育(個別療育)と小集団・集団療育を組み合わせる等、お子様のニーズに合わせた療育時間や療育形態を確保している。 ・個別支援計画や専門的支援実施計画書の作成においては、自店舗の機能訓練士(PT、OT)、心理担当職員、保育士、児童指導員等、全職員でお子様の現状を見極め必要な支援内容を考えている。 ・同グループ内の機能訓練士(ST)や業務委託を行っている専門学校の先生(PT、OT、CO)に相談し、より専門性の高い療育内容の検討を行える体制が整っている。	・引き続き、土日祝日に行う工作、クッキング、外出イベントだけではなく、近隣の公園遊び、季節による水遊び等、実体験から情緒面が育つ内容を考えていく。 ・個別療育で個々に自信をつけ、小集団・集団の中で力を発揮できるように、集団遊びで他者と関わる楽しい経験を積む機会を充実させていく。 ・職員一人一人が専門性を高め、お子様の成長を多角的に判断し、様々なアプローチの仕方、療育内容を考えられるように学びの機会(外部研修、療育会議)を作っていく。
2	・保護者様の相談の機会の充実、お子様を取り巻く関係機関との連携	・お子様の小さな変化、保護者様の悩み等を職員が敏感に感じ取り、情報を共有して相談につなげていく体制を整えている。また悩みに対してどのように応えていくべきか、職員間で相談し一緒に考えながら、方向性を決めている。 ・子どもの発達心理に基づく行動分析(行動の背景にある理由)から、大切にすべき配慮事項を具体的に伝えることを心掛けている。また相談内容を職員間で共有し、どのような視点で問題解決に向けて取り組むべきか支援の方向性を統一している。 ・定期的に月1回テーマごとの子育てセミナー(保護者様勉強会)、グループ相談、随時行う個別相談を実施している。 ・関係機関連携として、通園先や医療機関等に訪問し、お子様の様子の情報共有や手応えの確認、双方の支援方針、悩み等の情報交換をしている。お子様の理解者を増やすために、関係機関との連携を通して、同じ方向性で支えていける体制づくりに力を入れている。	・引き続き、お子様・保護者様の変化を敏感に感じ取り、悩みに寄り添える職員育成に努めていく。 ・令和7年度は、各職員の専門分野を活かした子育てセミナーを年間を通して実施していく予定。土曜日開催にすることで、参加者を増やしていく。また内容によってはスマイル本店を活用したり、他店舗職員を講師として招いたりしながら、様々な悩みや相談に対応できる状況を作っていく。
3	・職員間の情報共有や連携	・職員間でリアルタイムにお子様の状況、保護者様の要望等を共有し合う意識が高く、実行している。 ・日頃から職員が嬉しかったこと、難しかったこと、悩んでいること等、お子様に関することを自ら伝え合う環境が整っている。 ・職員一人一人がコミュニケーションを図ること、何かあれば相談しながら進むことを意識し取り組むことで、職員の身に起こっていること、仕事上での問題点が明確になり、考える雰囲気につながっている。	・日々のコミュニケーションの中で、問題解決に向けて意見交換しているが、今後は定期的なケース会議や業務会議、個別面談等の時間を確保し、率直に意見を言い合い、職員の意見を反映しながら相談し合える場を作っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常災害の発生に備えた定期的な避難訓練等や各種マニュアル等の保護者様への周知	・契約時等に各種マニュアルに基づき、職員が対応することを説明しているが、閲覧方法の手段が少ない。 ・令和6年度は避難訓練の頻度が少なく、保護者様への全体周知に至っていない。	・各種マニュアルについて全体周知の方法を検討する。 ・避難訓練の実施計画や実施報告を、事前に書面説明やホームページ上で行い、お子様の安全確保に向けての取り組みの理解に努める。
2	・義務化された研修や、児童の安全確保に関する取り組みの計画的な実施	・各種マニュアルの作成を実施し見直しを行っているが、全職員の周知・定着化には差が大きい。 ・オンライン研修を含めて研修形態を工夫しているが、研修を行える時期が限られており、全職員が一定水準まで理解する難しさがある。 ・経験年数の差により、研修内容に実感が持たにくい状況がある。	・年度当初に義務化された研修だけではなく、時期ごとに必要な児童の安全確保に関する取り組みや研修の年間計画を立案する。定期的な実施する。 ・研修内容の吟味や、座学だけではなく実践を伴う研修の工夫により、実践力を身に付ける機会につなげる。
3	・ヒヤリハットへの意識の向上、再発防止に向けての対策の検討	・ヒヤリハットへの意識は少しずつ高まり、職員が視角を作らず安全を確保できる場所で療育を行っている。しかし活動の中で想定される怪我・事故のリスクについて職員間で知識の差がある。経験値の差によるものも大きい。再発防止に向けて対策の幅が狭い部分がある。	・引き続き、職員間でコミュニケーションをとり、未然に事故・怪我を防ぐ意識向上に努める。 ・安全点検に関する年間スケジュールを定めて、実施、見直し、修正を行っていく。 ・ヒヤリハット集を作成し、リスクが高い局面につながる行動への知識を職員が深め、安心・安全につながる療育の体制を整える。